

【件名】	道路改修工事及び補償代行工事(大一泉津2期の6)	【事務所名】	大島支庁	
【工事場所】	大島町泉津地内	【受注者名】	大昌建設株式会社	
【工期】	平成29年6月2日から平成30年2月2日まで	【主たる技術者名】	山下英二	

## 【工事概要】

本工事は、観光名所である椿トンネルなど大島泉津地区特有の景観を保全しつつ、狭隘な集落内の都道に並行したバイパス道路を整備するものであり、平成30年1月開通予定に向けた最終の道路街築工事である。

## 【表彰理由】（※発注者側評価）

受注者は、作業工程を綿密に管理・調整し、作業班・人員を増強する等工期短縮に努めたことにより、降雨量が全国平均1.6倍の多雨地域にも関わらず開通式を工期内の1月13日に実施することが出来た。また、受注者は円滑な施工を行うため、日々監督員とコミュニケーションを取ったほか、沿道住民やバス事業者等との現場立会による確認調整を積極的に行った。工事記録写真等報告書の編集は丁寧で分かりやすくとりまとめられていた。



施工前



施工後

## 【受注者の声】

- ◇ 苦労した点  
本工事は3工区に分かれており、生活圏内を施工するものであったが、綿密な工事計画を立て、連絡協議会を週1回開催することにより、無事に完了する事が出来た。
- ◇ 特に工夫した点  
交通管理者との協議に際し、カーブの厳しい箇所においては、バスが安全に運行できるように、バス会社協力のもと、試し走行を行うなど安全確保に努めた。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感  
今回は開通式が予定されており、その日まで工事完了させるよう、施工方法や工程を改善しながら工事を進めた結果、予定通り開通式典を迎え、様々な方の笑顔を見ることが出来た。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと  
どんな工事でも苦難・苦労にぶつかり、その解決方法は何種類もあると思うが、できるだけ多くの人の意見を取り入れ、一番適切な解決方法を決めることが重要である。



バスの通行が困難な施工中の交通切り替え箇所